

令和5年度 第2回静岡県事業評価監視委員会

日時 令和5年11月13日(月) 13時30分～

場所 静岡県庁西館4階 第1会議室A B

次 第

1 開 会

2 議 事

(1) 報告事項

- ・ 前回委員会の意見
- ・ 県民意見募集（再評価事業）の結果と対応

(2) 審 議

対象事業に係る意見のとりまとめ

- ・ 再評価対象事業（26事業）の対応方針案
- ・ 事後評価対象事業（6事業）の対応方針案

3 その他

流域委員会の審議経過を経た河川整備計画策定の報告

4 閉 会

令和5年度 第2回静岡県事業評価監視委員会 座席表

日時 令和5年11月13日(月)

13時30分～15時30分

場所 静岡県庁西館4階第1会議室AB

WEB用カメラ

鳥海委員、加藤(亮)委員WEB参加

PC
操作

ディスプレイ

WEB用PC

加藤(裕)委員長

ディスプレイ

今泉委員
服部委員

松本委員

入口

速記

ディスプレイ

柴 交通基盤部 政策管理局長	羽田 交通基盤部 参事	酒井 交通基盤部 理事	高梨 交通基盤部 理事	田保 経済産業部 農地局長	細野 農地整備 課長
----------------------	-------------------	-------------------	-------------------	---------------------	------------------

記者席

木村 建設政策 課長	杉本 砂防 課長	杉山 河川海岸整備 課長	山田 河川企画 課長	松岡 道路整備 課長	好田 農地保全 課長
------------------	----------------	--------------------	------------------	------------------	------------------

記者席

事務局	事務局	石井 漁港整備 課長	随行者席	随行者席	随行者席
-----	-----	------------------	------	------	------

随行者席

入口

随行者席

傍聴席

令和5年度 第1回事業評価監視委員会の委員意見等

<再評価>

番号	事業No.	担当課名	箇所名	評価区分	パワポページ	発言委員	委員からの意見・質問	委員会での回答
1	1	農地整備課	西浦みかん東部	再	①-4	久留戸委員	「寿太郎みかん」の中の「プレミアムゴールド」というのはどういうものか。	「寿太郎みかん」は、貯蔵により引き出すものですが、「プレミアム」については、さらに高度な冷風貯蔵技術により鮮度を高めて甘みを増すもので、通常のものより単価が高いです。
2	1	農地整備課	西浦みかん東部	再	①-5	加藤(亮)委員	受益内の「寿太郎みかん」の農家数の将来動向等のデータはあるか。(今後も継続してやっていきたい」という農家数等。)	本地区の集積計画では、現在26名の担い手がおり、事業完了時の目標は27名となっております。また、令和5年3月時点で実施した地区内各農家向けアンケートの結果、約80%の農家が5年後に自作地で耕作を継続する意向を示しています。また、それ以外の農家についても、担い手への貸出を希望している方もおり、担い手への集積、集約が進んでいくと見込んでいます。
3	1	農地整備課	西浦みかん東部	再	①-5	加藤(亮)委員	「寿太郎みかん」は個人的な農家が今後も中心になっていくというような考え方のことだが、本事業は、経営規模の拡大等は考えず、現状の農業水利サービスの向上や現状の施設の維持を行うことで十分という考え方が。	事業の実施により、通作条件の向上がされたことで、これまで規模拡大できなかった農家が、徐々に営農面積を広げているという状況です。このことから、担い手への農地集積が図られていると考えています。
4	1	農地整備課	西浦みかん東部	再	①-3	服部委員	当初計画からの変更について、大きく事業費増となっている。完成まであと6年あるが、更なる事業費が増額することはないか。	当初は机上で計画し、事業費を計算しているが、採択後に、現地状況や地元の方との話し合いを進め、設計を進めており、現時点で概ねの事業費は決定していることから、今後、増額はない見込みです。
5	1	農地整備課	西浦みかん東部	再	①-10	松本委員	ドローンを利用した営農の実証実験について、県で行うと思うが、農家から希望があつて実証を行うのか。それとも、県主導で実証を行うのか。	みかん畑についてはドローン利用があまり進んでおらず、手探りな状態であることから、どちらかというと、行政側で手法を探っているという状況です。
6	2	農地保全課	朝霧高原	再	②-8	加藤(亮)委員	事業効果でインバウンドやグリーンツーリズムにおける、投資効果の便益はどのようにみているか。グリーンツーリズムで外部から来た観光の数値はあるか。費用対効果に反映できないが、インバウンドの人数が増えている状況が定量的に出せれば有効な指標になるがいかかが。	インバウンドによる観光客の便益については、事業効果に反映していません。インバウンドでの地域来訪者は把握できると思いますが、普通に観光できた人数は把握できていない状況です。今後検討してみたいと思います。
7	2	農地保全課	朝霧高原	再	②-4	服部委員	軟弱地盤だったということで増額しているが、当初の計画時点で分からなかったのか。	当初計画は、近隣の土質試験の結果等を参考に計画しています。実施設計に伴う地盤調査で軟弱地盤であることがわかりました。
8	2	農地保全課	朝霧高原	再	②-4	鳥海委員	当初計画の民地に管路を通す計画は現実的じゃないと思う。当初から民地に影響を及ぼさないルートに設定しなかった理由を伺いたい。	既設管路は、昭和20年の国営開拓事業で一番最初に整備されており、その当時の管理図が非常に古く、(民地に配管されている位置が把握できていませんでした。実施設計で検討を行い、民地を通す場合は用地買収が必要となることや、今後の維持管理のしやすさ等考慮した結果、公道ルートを通したほうが良いということで施設管理者と協議を行い、変更をしております。
9	2	農地保全課	朝霧高原	再	②-6	松本委員	管路を埋設すると維持管理しやすくなるのはわかるが、埋設に伴い見えにくくなるが「点検がしやすくなる」という表現はどういうことか。	点検するとき道路を通過して行けるため、施設までアプローチしやすくなったという意味です。
10	2	農地保全課	朝霧高原	再	②-8	佐野委員	農村マイクロツーリズムモニターツアーを実施したが、今後も拡大していく予定か。また、市内住民を対象にしているが、市外からは来ないからということか。	今後もこの取組は進めていきます。コロナ禍の中で、近隣からまずファンを多くつくろうといったことで取り組んでおります。

<再評価>

番号	事業No.	担当課名	箇所名	評価区分	パワポページ	発言委員	委員からの意見・質問	委員会での回答
11	4	農地保全課	米津排水路	再	③-11	服部委員	維持管理費というのは、どういったものがかかるのか？	維持管理費節減効果につきましては、この排水路整備によって維持管理する施設の面積が増えたということで、施設がない場合に比べて維持管理費が増加するのでマイナスということになっております。
12	4	農地保全課	米津排水路	再	③-7	松本委員	湛水被害の「あり」「なし」とは、どの辺までだったら「あり」とするのか、「なし」とするのか。その閾値って、どういうふうに判断しているのか？ 湛水深が何センチまでだったら「あり」にしたのか？	浜松市のほうで現状どこまで浸水したかというのをいろいろ調査して、その結果を公表していますが、何センチという基準までは、把握しておりません。
13	4	農地保全課	米津排水路	再	③-7	松本委員	「被害なし」としたところでも少しは水があると思われるが、全く湛水がない場合は「なし」にし、少しでも湛水がある場合は「あり」にするといった判断なのか？	何時間とかというところまでは厳密には分らないが、ある程度の時間湛水した場合は湛水被害があったということになっています。
14	4	農地保全課	米津排水路	再	③-4	加藤(亮)委員	ディープウエルポイント工法は排水路の地下水位を低下させるという目的なのか？	排水路を施工するとき水があると、掘削も施工もできないため、その施工区域の地下水位を下げるといった目的です。
15	4	農地保全課	米津排水路	再	-	加藤(亮)委員	排水路の最終的な出口は機械排水になるのか？	この両方の河川ともに排水機場が整備されており、ポンプを使って排水を行なっております。
16	4	農地保全課	米津排水路	再	-	加藤(亮)委員	排水機場は土地改良区の所有なのか？	市が管理しています。
17	4	農地保全課	米津排水路	再	-	加藤(亮)委員	市が管理しているということは、ポンプ稼働によるタマネギの価格変動などは考慮していいのか？	ポンプ稼働によるタマネギの価格変動などは特にないものと考えています。
18	4	農地保全課	米津排水路	再	③-4	加藤(裕)委員長	ディープウエルポイントの仮排水処理が事業費の増加につながっているということだが、ディープウエルポイントを使用しないと工事が進まなかったのか？	ディープウエルポイントを使用しないと水位が下がらなかったため使用しました。ウエルポイント工も当初は片側だけだったが両側に施工したことが事業費増加の大きな要因になっています。
19	5	道路整備課	一般国道414号 静岡バイパス	再	④-5	佐野委員	計画期間の延伸10年間(全体の約20%)に比べ、全体事業費の増額10億円(全体の約3%)の割合が小さいのはなぜか。	未整備区間4.4kmは、公共事業に加え有料道路事業を導入しています。スライドの全体事業費310億円は、有料道路事業分を除いた公共事業分のみであるため増加割合が小さくなっています。
20	5	道路整備課	一般国道414号 静岡バイパス	再	④-8	鳥海委員	バイパス整備により、交通分散が図られ、現道の交通量が整備前に比べ約6割減少し、渋滞の緩和等が期待されるとのことだが、今後は、現道をどのように活用していくかが重要となる。今回の再評価資料には、現道の活用計画や費用対効果が含まれているのか。渋滞緩和以外にも歩道拡幅の可能性があるのか。交通量が減少しただけでなく、上記に加え、最近、各地で注目されている「歩行者中心の道路空間づくり」の検討まで行えると、バイパス整備の意義が上がると感じる。	現道は通学路としても利用されており、バイパス整備により現道の交通量が減少することで交通事故削減等の効果が費用対効果(便益)として現れます。現道の活用計画は、バイパス開通後の状況をみながら必要な対策をとっていきます。
21	5	道路整備課	一般国道414号 静岡バイパス	再	④-10	加藤(裕)委員長	「バス運行会社の声」等の記載は興味深い。地元の方からどのような反応があったのか教えてほしい。	通過交通がバイパスに誘導され、幅員の狭い現道の交通分散が図られるので、道路利用者からは安全性が高まる旨、評価をいただいています。
22	5	道路整備課	一般国道414号 静岡バイパス	再	④-15	服部委員	①事業の進捗状況で、「用地取得51.1%」とあるが、残りの用地取得の見込みはどうか。 ②これから用地取得するということは、再度、事業期間が延伸するのか。	①残りの用地取得は、未整備区間4.4kmが対象となります。現在、設計等を進めているため、これから用地交渉を進めていきます。 ②期間が延びることのないように、事業を鋭意進めていきます。
23	5	道路整備課	一般国道414号 静岡バイパス	再	④-14	松本委員	長塚橋より北側のバイパスは山間部を通っているが、長塚橋より南側のバイパスは陸地に近いところを通っている。津波浸水被害の影響を受けないか。	当該区間のバイパスは、地上から高い位置に整備されるため、津波の影響は受けません。

<再評価>

番号	事業No.	担当課名	箇所名	評価区分	パワポページ	発言委員	委員からの意見・質問	委員会での回答
24	9	河川海岸整備課	二級河川馬込川	再	-	服部委員	本事業は、市民や企業からの寄付金があったと聞いたが、他の事業でもこのようなことはあるのか。また、今回寄付金を募った経緯は。	通常、津波対策については、レベル1津波への対策を県が実施するところですが、本事業は地域の大きな要望もあり、レベル2津波への対策として、防潮堤整備のレベルアップ分を市民や企業からの寄付金及び浜松市からの負担で実施しています。
25	9	河川海岸整備課	二級河川馬込川	再	-	服部委員	全体事業費の何パーセントくらいを県以外の費用で賄っているのか。	全体84億円のうち、浜松市から7億円の協力金、津波の基金や企業、市民から約12億円の寄付金があります。
26	9	河川海岸整備課	二級河川馬込川	再	-	服部委員	皆さんからのお金を使わせていただくということで、こういうインフォメーションセンターがあるというのはとてもいい効果になると思う。	その他にも、YouTubeで施工の状況や工事業者さんの声、県土木事務所の担当者の説明する動画を配信したり、積極的な広報に努めているところです。
27	9	河川海岸整備課	二級河川馬込川	再	-	久留戸委員	インフォメーションセンターは工事中だけ設置しているのか。	建設会社のイメージアップという形で、工事現場に隣接する敷地内にセンターを設置しています。令和9年度の完成に向けてそれまでの期間は当センターでPRを継続していく計画です。
28	9	河川海岸整備課	二級河川馬込川	再	-	久留戸委員	団体の予約で見学できるということか。	県の浜松土木事務所に問い合わせいただければ、団体等の視察を受け入れさせていただきます。
29	9	河川海岸整備課	二級河川馬込川	再	-	久留戸委員	完成後は、沼津の「びゅうお」のように展望台ができるのか。	「びゅうお」については、観光の目玉として沼津市からの負担もいただいて展望施設も併設しているところですが、今回の水門については、操作室があるのみで展望施設は計画していません。ただ、管理橋を計画していますので、橋で対岸に渡ることはできません。
30	19	砂防課	洞川	再	⑥-5	松本委員	透過型堰堤は、何か維持管理的なものは必要か。1回何か発生すると、取り除くなどの必要があるか。	堰堤にたまった土砂の撤去に関する話かと思いますが、通常、1回土砂がたまって、その後の降雨等によって、その土砂を少しずつ下流に流すというような施設効果があります。ただし、流木がたまって、取り除かなければ効果が薄れてしまうような状況になったときには、今回の施設ですと、管理用道路を計画しておりますので、適正な除石や流木の撤去をしていきます。
31	19	砂防課	洞川	再	⑥-5	松本委員	除石や流木の撤去に関する費用も見込んで計画しているか。	見込んでいます。維持管理費用としては、B/Cの中のコストの部分で、約250万円を50年間見ております。その250万円というのは、静岡県内の砂防事業におけるメンテナンスの平均的な金額として掲げているのが250万円です。それを加味して設計金額を算出しております。
32	19	砂防課	洞川	再	⑥-2	服部委員	これだけ「火山砂防」という事業になるのか。	火山砂防事業は、火山地域に位置するところで事業を行なうものです。主に富士山周辺、伊豆半島の東海岸など、全部ではないですが、一部の「火山地域」と言われているところが対象です。
33	19	砂防課	洞川	再	⑥-2	服部委員	同じ伊豆地域でも、このほかの急傾斜地の崩壊対策と火山砂防というのは、また違うのか。	砂防事業の土石流対策等で、砂防堰堤等を造る事業において、火山地域で行なうところはこの火山砂防、それ以外のところは通常砂防事業をやっています。地すべり対策事業や急傾斜地崩壊対策事業については、火山や通常のような区分はございません。
34	19	砂防課	洞川	再	⑥-2	服部委員	火山地域と普通の地域だと、何か違うということか。火山地域の方が通常の地域に比べ危険ということか。	その通りです。事務的な話になりますが、補助率が通常砂防事業よりも火山砂防事業の方が多少良いため、国費を多くいただける事業になっています。
35	19	砂防課	洞川	再	⑥-7	加藤(裕)委員長	軟弱地盤が判明したことによる増額をしており、他の事業でも軟弱地盤による増額があった。昨年の意見書でも、「そういったコスト意識を図るときに、事前にそういった面も加味して」ということが書かれている。この事業の場合は、今後どのような対応が考えられるか。	設計をする段階、事前調査でどのような調査をやっていくかということになると思います。これまでは、どちらかというと、「地質調査ボーリングを本堰堤の箇所ですら1本だけやればよい」という形で設計をしていましたが、その地域の地形の状況を見た中で、地質調査ボーリングを1本だけでなく、必要であれば2本、3本行い、事前の調査をもう少し密にやれば、このような地盤改良についての把握はできると認識しております。

令和5年度 第1回事業評価監視委員会の委員意見等

＜事後評価＞

番号	事業No.	担当課名	箇所名	評価区分	パワポページ	発言委員	委員からの意見・質問	委員会での回答
1	1	農地整備課	天竜川下流寺谷	事後	①-8	加藤(亮)委員	自動化や遠隔化といった技術は、今現在の程度導入できる見込みか。	自動給水栓を設置し、それをスマートフォンで遠隔操作するというような取組を県内で進めています。隣接する袋井市では自動給水栓の設置が進んでいます。磐田市にも技術導入を図っていきます。
2	1	農地整備課	天竜川下流寺谷	事後	①-7	加藤(亮)委員	この遺産(取水施設)はパイプライン化においては特に影響のない場所にあったのか。世界かんがい遺産はどういう形で保全していくのか。	この遺産(取水施設)は、本地区よりも上流に位置していたことに加え、現在は活用されていなかったことから、パイプライン化する際、影響はありませんでした。遺産保全の具体的な取組については、関係市町、土地改良区と調整を進めているところです。
3	1	農地整備課	天竜川下流寺谷	事後	①-2	松本委員	パイプライン化によって配水条件(上・下流での用水供給の難・易)が従来と変わることから、ルール化が必要と考えるが、これに関し取り組んでいることはあるか。	地域で定期的ローテーションで配水することを水利組合でルール化していただくことで、トラブルが生じないようにしています。
4	2	農地保全課	毘沙門	事後	-	加藤(亮)委員	流域治水の場合、下流側に宅地や都市域があると上流側の農業地域は田んぼダムのように湛水を許容せざるを得ない場合があるのでは。排水能力を全力で出せない場合もあると思われるが、この流域はどうか？	田んぼダムについては、県としても進めていきたいと考えているが、この地域については、田んぼダムの取り組みはまだ進んでいないという状況です。令和元年の台風の際は、本川で河川の水位が危険水位に達してポンプが稼働できなかったという状況もあり湛水被害が生じてしまいました。
5	2	農地保全課	毘沙門	事後	-	加藤(亮)委員	排水機場の操作や排水管理は難しいと思われるが、ポンプ運転のトレーニングやノウハウの継承などの取り組みは何か行っているのか？	地元の治水組合が操作・排水管理をしており、その組合が代々受け継いでいくといった形をとっております。
6	2	農地保全課	毘沙門	事後	-	服部委員	自然災害が激甚化している中で、ポンプの運転回数も想定より増加傾向にあると思われるが、耐用年数的にはどうか？	基本的には30年の耐用年数があるが、稼働頻度によって更新が早くなる場合もあるため、毎年点検を行っております。それにより機能保全計画も立てながら適切な更新を進めています。
7	2	農地保全課	毘沙門	事後	②-8	松本委員	今後の課題で、排水機場の遠隔監視や遠隔制御があげられているが、現状は整備されていないという認識でよいか？遠隔監視や遠隔制御は、既存施設への後付け整備が可能なのか？	県内で108箇所の農業用排水機場があるが、既に16箇所遠隔監視制御を導入しています。システムについては後付け可能で、来年度から国の補助事業を受けて遠隔監視制御システムの整備を進めていく計画になっています。
8	2	農地保全課	毘沙門	事後	-	加藤(裕)委員長	遠隔監視制御システムを導入することによって、最初に加藤先生が質問した流域治水的な問題についても対処が進むというような理解でいいのか？	臨場なしでポンプを稼働させることができるようになることから、迅速な排水対応が可能となり、加藤委員のおっしゃったことにも対応できると考えています。
9	3	道路整備課	一般国道136号土肥拡幅	事後	③-6	服部委員	所要時間の短縮だけでなく、温室効果ガスの排出量も減ったはずなので、そこも事業効果に入れていいのではないか。	CO2等の排出量については、説明資料には入れておりませんが、事後評価調書に記載しています。
10	3	道路整備課	一般国道136号土肥拡幅	事後	-	加藤(裕)委員長	CO2の削減については、評価の数値で見られるようになっているのか。	国の算出要領がありますが、CO2の削減については、便益に踏み込めるようになっていないため、それ以外で算出しています。事後評価調書に記載のとおり、削減量は51.7%です。
11	3	道路整備課	一般国道136号土肥拡幅	事後	③-5	鳥海委員	緊急車両が写っている写真があるが、混雑時に緊急車両がすり抜けられるようになるなどの効果もあるのか。	2車線整備によりすれ違いができるようになり、混雑時にも緊急車両がすり抜けられるようになっています。
12	3	道路整備課	一般国道136号土肥拡幅	事後	③-8	松本委員	中部版くしの歯作戦は、国の計画か。	国と県で作成した計画です。

<事後評価>

番号	事業No.	担当課名	箇所名	評価区分	パワポページ	発言委員	委員からの意見・質問	委員会での回答
13	4	河川海岸整備課	一級河川梅の木沢川	事後	④-8	加藤(裕)委員長	民家が隣接している川沿いに手すりがない箇所があるが、これは私有地だからか。この件で地元とは何か話をしているのか。	管理用道路や指導として認定されている箇所、現地の交通状況など、長泉町とも相談しながら転落防止策を設置している区間もあります。ご指摘のあった区間については、地域から安全対策という声が増えつつありますが、状況に応じて安全対策については考えたいと思っています。
14	4	河川海岸整備課	一級河川梅の木沢川	事後	④-4	加藤(裕)委員長	全体事業費が、前回の再評価時から減額となっており、努力がうかがえる。	発生土の有効活用等のコスト削減を図った結果となっています。
15	5	砂防課	両島瀬林	事後	⑤-8	服部委員	「浸食風化」という言葉が出てきているが、浸食風化というのは、どういう工事だと起きるのか。	浸食風化というのは、切った法面をそのまま置いておくと、その後の風雨等によって、斜面がだんだんと崩れていくこととなります。そういうことを防ぐための対策として、法砕工をやって法面を安定の状態にすることとしております。
16	5	砂防課	両島瀬林	事後	⑤-8	服部委員	法面を切りっぱなしというか、削りっぱなしというような工法もあるということなのか。	法面対策として、安定の勾配に切ると、緩い勾配で切るというやり方もございます。今回この場合は、山の斜面が非常に高かったということもあって、安定勾配にすると、それだけ切土量、残土がかなり出てしまうということもございまして、経済性を考慮した中で、工法は決めていくこととなります。
17	5	砂防課	両島瀬林	事後	⑤-10	松本委員	住民への情報提供を丁寧にやったので円滑に進むというご説明があったかと思うが、具体的に教えてほしい。	今回この地区としては、回覧板を通して、定期的に事業の進捗について広報をしました。そのことによって、住民の人たちが、今工事がどの辺まで進んでいるのか、どのぐらいの効果というか安全性が高まったのかということや、今後のスケジュールも何となく見えるような形になったので、そういう面では非常に良かったと思っています。
18	5	砂防課	両島瀬林	事後	⑤-10	松本委員	回覧板を使ってやるというのは、ここだけでやった話なのか、一般的な話なのか。	いろいろ現場ごとに、住民への周知の方法というのはあると思います。この地区以外でも、回覧板を使うケースも多々あると思います。他の地区で、最近、SNSを使って広報することも一部では取り入れております。
19	5	砂防課	両島瀬林	事後	⑤-4	鳥海委員	人家26戸を、もっと被害のない地域に移転するのに比べて、壁をつくることは、安く済むのか。将来考えたときに難しくなってくるような気がして、逆に、中心地に人口を集めようみたいな話もある中で、今後どうするべきなのかということをお聞かせいただきたい。	急傾斜地崩壊対策事業というのは、人家5戸以上を対象にやっております。地元に入ったときに、その土地に住みたいという意向を持っている方が多いのが実情としてあります。ただ、今後、地域づくりということも含めて、計画づくりというのが必要になってくると思っておりますが、現在、方針は特に持ち合わせていないのが現状です。
20	6	漁港整備課	舞阪漁港	事後	⑥-5	加藤(裕)委員長	浚渫に伴い大型漁船が係留可能になったとのことだが、元々土砂が溜まりやすい箇所だったのか、一度浚渫すれば水深は維持されるのか。	ここは元々マイナス2.0mを維持して管理してきたところです。今回、さらに1m掘り下げた箇所とそれ以外の箇所で段差が生じますが、そこは緩やかにすりつけることで回りから土砂が流れ込んでこないよう仕上げています。また、余掘りを行うことで、すぐに土砂が溜まってしまうことはありません。なお、定期的なパトロールを実施し、状況の随時管理も実施しています。
21	6	漁港整備課	舞阪漁港	事後	⑥-5	服部委員	第2防波堤の整備前と整備後の高さは同じで、港内外の敷石を増やしたことにより防波堤の役目を果たしているということか。	高さも少し嵩上げています。基礎になっている部分の石をしっかりと積み直し、さらに被覆石を並べることで、大きな波が来た時でも防波堤が安定するよう改良してあります。
22	6	漁港整備課	舞阪漁港	事後	-	服部委員	今回と同様の工法で、耐震・耐津波対策のための防波堤をこれからも増やしていくということか。	今後改良が必要なものは引き続き事業を進めており、それぞれの箇所に適した工法でより安定した形の構造に改良していく。
23	6	漁港整備課	舞阪漁港	事後	-	加藤(裕)委員長	シラスが代表的な指標として取り上げられていたが、この他の状況はどのようか。	舞阪漁港はシラスが一番重要で、全体の水揚げの7割以上がシラスなこともあり、事業の指標としてもシラスということで整理しています。
24	6	漁港整備課	舞阪漁港	事後	⑥-1	久留戸委員	漁港の種別とはどのような区分か。	法律で定められている1~4という種別がある。第1種は地先の漁業に資するための漁港、第4種は国が指定した避難港に位置付けられているもの、第3種は背後に大きな市場や水産加工場を抱えているような地域の経済活動に大きく影響するもの、第2種は1種と3種の間くらいとしてそれぞれ区分されています。
25	6	漁港整備課	舞阪漁港	事後	-	久留戸委員	清水港は漁港か。	清水港や田子の浦港、下田港は国土交通省が所管する港湾という位置づけとなります。

令和5年度 再評価 対象事業一覧表

■県事業：26事業

<経済産業部> 4事業

事業種別・事業名		箇所名	関係市町	対応方針（案）
○農地事業：4事業				
1	生産基盤整備事業	にしうら 西浦みかん東部	沼津市	継続
2	農村整備事業	あさぎりこうげん 朝霧高原	富士宮市	継続
3	農地保全事業	かきざわがわなんぶ 柿沢川南部	伊豆の国市	継続
4	農地保全事業	よねづばいすい 米津排水路	浜松市	継続

<交通基盤部> 22事業

事業種別・事業名		箇所名	関係市町	対応方針（案）
○道路事業：4事業				
5	道路改良事業	いっばんくどう ぐう しずうら 一般国道414号 静浦バイパス	沼津市、伊豆の国市	継続
6	道路改良事業	いっばんくどう ぐう ごてんば 一般国道469号 御殿場バイパス	御殿場市	継続
7	道路改良事業	いっばんくどう ぐう おおしろかくふく 一般国道473号 大代拡幅	島田市	継続
8	道路改良事業	いっばんけんどうふじていしやじょう でんぼうせん 一般県道富士停車場伝法線	富士市	継続
○河川・ダム・海岸事業：7事業				
9	地震・高潮対策事業	にきゅうかせんまごめがわ 二級河川馬込川	浜松市	継続
10	地震・高潮対策事業	にきゅうかせんはつかわ にきゅうかせんいとかわ にきゅうかせんあたまわ だがわ 二級河川初川、二級河川糸川、二級河川熱海和田川	熱海市	継続
11	高潮対策事業	ぬまづしづせ かいがん 沼津牛臥海岸	沼津市	継続
12	高潮対策事業	さがらすすきかいがん 相良須々木海岸	牧之原市	継続
13	高潮対策事業	しずおかかいがん 静岡海岸	静岡市	継続
14	河川改修事業	いっきゅうかせん えのおえがわ 一級河川江尾江川	富士市	継続
15	河川改修事業	いっきゅうかせん おおいがわ 一級河川大井川	川根本町	継続
○砂防・地すべり・急傾斜事業：11事業				
16	通常砂防事業	かみかんぞ ざわ 上神増沢	磐田市	継続
17	通常砂防事業	や つ おほわきたざわ 八津奥沢北沢	静岡市	継続
18	通常砂防事業	はらひがしざわ 原東沢	藤枝市	継続
19	火山砂防事業	ほらがわ 洞川	伊豆市	継続
20	通常砂防事業	にしかみかんざわ 西上神沢	浜松市	継続
21	地すべり対策事業	くちさかもと 口坂本	静岡市	継続
22	急傾斜地崩壊対策事業	ながおかきこんやま 長岡左近山	伊豆の国市	継続
23	急傾斜地崩壊対策事業	や た おしきり 谷田押切No. 4	三島市	継続
24	急傾斜地崩壊対策事業	まかどみねやま 間門峯山	富士市	継続
25	急傾斜地崩壊対策事業	よもぎざわ 四方沢	静岡市	継続
26	急傾斜地崩壊対策事業	さかもと 坂本	静岡市	継続

令和5年度 事後評価 対象事業一覧表

■県事業：6事業

<経済産業部> 2事業

事業種別・事業名		箇所名	関係市町	対応方針（案）
1	生産基盤整備事業	てんりゅうがわりゅうてらたに 天竜川下流寺谷	磐田市	事業効果は十分に発現 改善措置の必要なし
2	農地保全事業	びしゃもん 毘沙門	伊豆の国市	事業効果は十分に発現 改善措置の必要なし

<交通基盤部> 4事業

事業種別・事業名		箇所名	関係市町	対応方針（案）
3	道路改良事業	いっばんこくどう ごう といかくふく 一般国道136号 土肥拡幅	伊豆市	事業効果は十分に発現 改善措置の必要なし
4	河川改修事業	いっきゅうかせんろめ きさわがわ 一級河川梅の木沢川	長泉町	事業効果は十分に発現 改善措置の必要なし
5	急傾斜地崩壊対策事業	りょうじませばやし 両島瀬林	浜松市	事業効果は十分に発現 改善措置の必要なし
6	水産流通基盤整備	まいさかぎょこう 舞阪漁港	浜松市	事業効果は十分に発現 改善措置の必要なし

静岡県事業評価監視委員会委員（第13期）一覧

氏名	職名	任期	選任区分
いまいずみ ふみとし 今泉 文寿	静岡大学大学院 農学部生物資源学科教授	R1.6 ～	学識者 (農業・林業系)
かとう たすく 加藤 亮	東京農工大学 農学研究院教授	R1.6 ～	学識者 (農業・林業系)
かとう ゆうじ 加藤 裕治	静岡文化芸術大学 文化政策学部教授	H29.6 ～	学識者 (情報メディア系)
くると りょうこ 久留戸 涼子	常葉大学 教育学部教授	H29.6 ～	学識者 (環境系)
さの きみひろ 佐野 公洋	弁護士	R5.6 ～	法曹
たにぐち あやこ 谷口 綾子	筑波大学大学院 システム情報系教授	R5.6 ～	学識者 (土木・都市計画系)
とりうみ あずさ 鳥海 梓	東京大学 生産技術研究所助教	R3.6 ～	学識者 (土木・都市計画系)
はっとり のりこ 服部 乃利子	静岡県地球温暖化防止活動推進 センター 次長	R3.6 ～	県民代表
まつもと けんさく 松本 健作	静岡理工科大学 理工学部教授	R5.6 ～	学識者 (土木・都市計画系)

敬称略 五十音順

(任期) 令和5年 6月5日～令和7年 6月4日 (2年間)

(委員長) 加藤 裕治 静岡文化芸術大学教授

令和5年度 静岡県事業評価監視委員会スケジュール

部内審査会(令和5年7月13日)

委員への事前説明

- 県民意見の反映(インターネット等)
- 受益者等の意見の反映(アンケート等)

- 事業評価監視委員会
- 第1回委員会(令和5年9月8日(金))
 - ・ 対応方針案の審議
再評価(26事業)
事後評価(6事業)

- 現地視察(令和5年10月16日(月))
 - ・ 代表説明箇所の現地視察(3箇所程度)

- 第2回委員会(令和5年11月13日(月))
 - ・ 対応方針案のとりまとめ 等

対応方針の決定(令和6年1月頃)
〈知事〉

評価結果の公表(令和6年1月頃)